

化審法低生産量・少量新規化学物質  
申出システム(ver7.03)  
インストール説明書

経済産業省 産業保安・安全グループ  
化学物質管理課 化学物質安全室

2024/8/30

<b>1 はじめに</b> .....	<b>2</b>
<b>2 動作環境</b> .....	<b>3</b>
2.1 動作環境.....	3
2.2 注意事項.....	6
<b>3 申出システムのインストール手順</b> .....	<b>6</b>
3.1 インストーラによる申出システムのインストール.....	7
3.2 zip ファイルによる申出システムのインストール .....	13
<b>4 Adobe Reader のインストール手順</b> .....	<b>16</b>
4.1 Adobe Reader をインストールする .....	16
<b>5 AccessDatabaseEngine のインストール手順</b> .....	<b>19</b>
5.1 AccessDatabaseEngine をインストールする .....	20
5.2 Access Runtime をアンインストールする .....	22
<b>6 (応用)データベースの共有</b> .....	<b>26</b>
6.1 データベース共有とは .....	26
6.2 データベース共有によるメリット .....	26
6.3 データベース共有によるデメリット .....	26
6.4 データベース共有を実施する手順.....	27
6.5 システム利用開始後にデータベース共有を実施する手順 .....	32
<b>7 (応用)パソコン更新手順</b> .....	<b>33</b>
7.1 バックアップ .....	33
7.2 申出システムのインストール.....	33
7.3 バックアップデータの移行 .....	33

# 1 はじめに

---

本説明書は、「化審法低生産量・少量新規化学物質申出システム (Ver. 7.03)」(以下、「申出システム 7.03」という) のインストール手順を説明することを目的としています。申出システム 7.03 のインストールの際は、必ず本説明書をご覧ください。

本説明書は、申出システム 7.03 がインストールされていないパソコンに申出システム 7.03 をインストールすることを想定しています。申出システム 7.03 以前の申出システムがインストールされているパソコンに申出システム 7.03 をインストールしようとする場合は、「最新版更新用ファイル インストール説明書 申出システム (ver7.03) 利用者向け」をご覧ください。

## 2 動作環境

---

本章では、申出システム 7.03 を動作させるために必要な環境について説明します。

### 2.1 動作環境

---

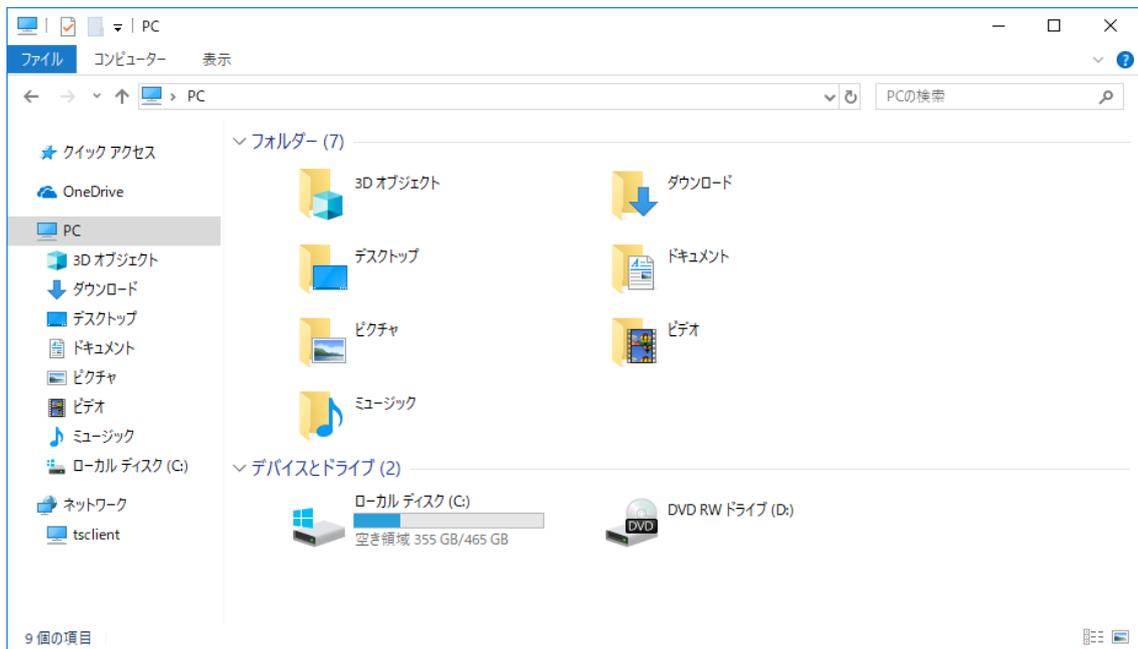
申出システム 7.03 の動作環境は以下の通りです。

項目	主な仕様
OS	Microsoft Windows 11 (64bit) 日本語版 Microsoft Windows 10 (32bit/64bit) 日本語版
CPU	1 ギガヘルツ (GHz) 以上の 32 ビット (x86) プロセッサ または 64 ビット (x64) プロセッサ
メモリ	1 ギガバイト (GB) RAM (32 ビット) または 2GB の RAM (64 ビット)
ディスク容量	16GB (32 ビット) または 20GB (64 ビット) の空き容量のあるディスク領域
デバイス	解像度 1024×756 以上で 256 色以上出力可能なモニタ、キーボード、マウス、プリンタ、CD-ROM ドライブ
その他	MS Office ① MS Office 2016 32bit、MS Office 2016 64bit ② MS Office 2019 32bit、MS Office 2019 64bit ③ MS Office 365 32bit、または MS Office 365 64bit .NET Framework 4.5.1 Adobe Reader AccessDatabaseEngine (※) ※MS Office が②又は③の場合、もしくは Access Runtime 2013 がインストールされている場合にインストールが必要。詳細は「5 AccessDatabaseEngine のインストール手順」を参照

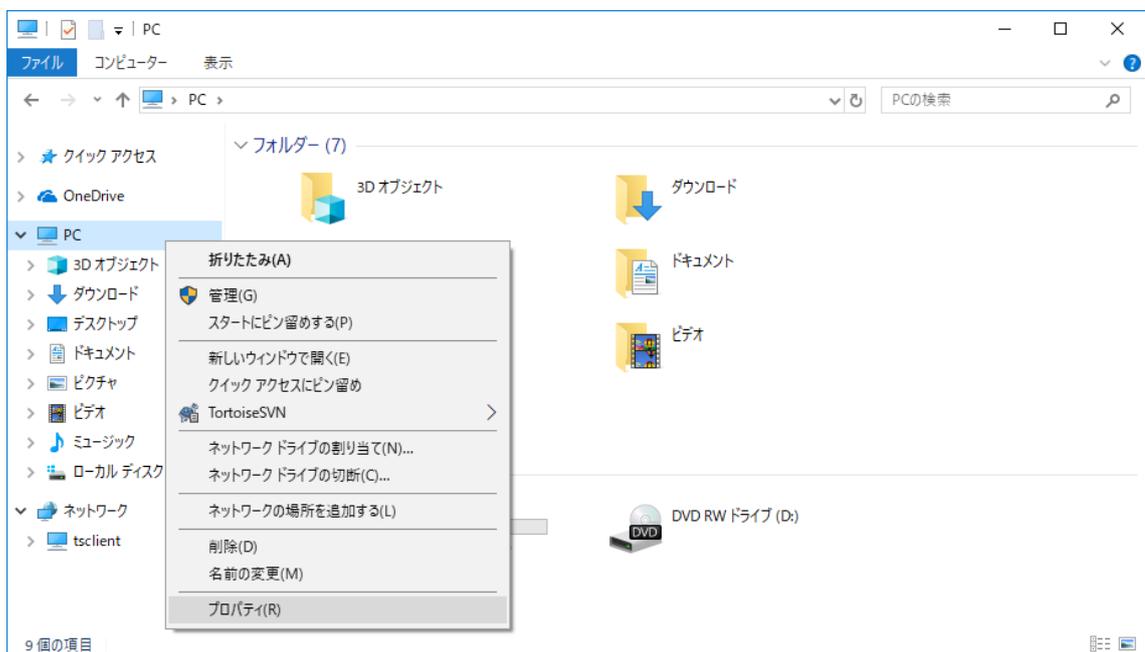
※OS の bit 数の確認方法

- windows 10

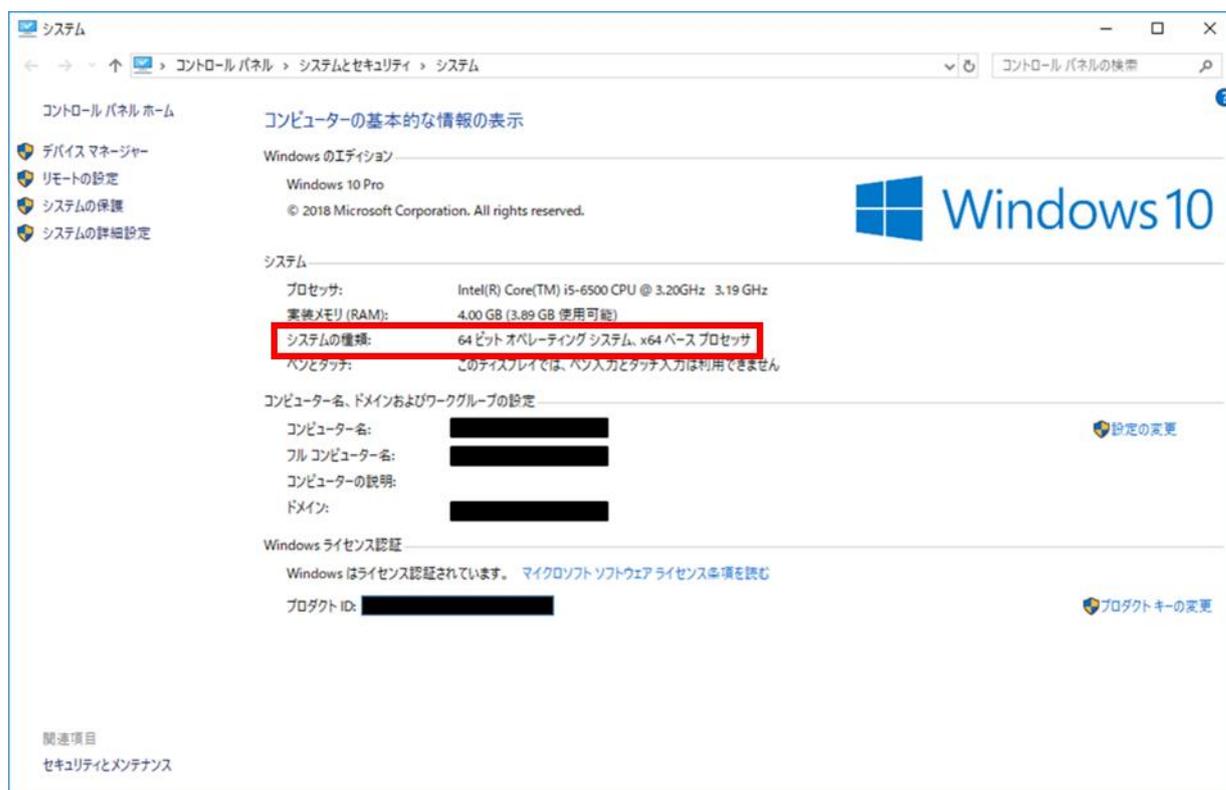
エクスプローラー(フォルダ)を起動し、PC を右クリックします。



右クリック後、プロパティを押下します。



マシンのシステム情報が表示され、bit 数が確認できます。



- windows 11  
64bit 版のみのため、確認は不要です。

---

## 2.2 注意事項

---

申出システム 7.03 のインストールを行う上での注意事項は以下の通りです。

- ① 申出システム 7.03 は .NET Framework 4.5.1 で作成されています。本プログラムを導入しようとするパソコンで Visual Studio 等を用いて開発などを行っている場合や、独自のソフトがすでにインストールされている場合には、不整合が生じる恐れがあります。そのような場合には別にパソコンをご用意ください。
- ② 申出システム 7.03 は PDF ファイルの出力機能があるため、**Adobe Reader のインストールが必要です。** Adobe Reader がインストールされていないパソコンで Adobe Reader が必要な機能を利用すると、Adobe Reader のインストールを促すメッセージが表示されます。「4. Adobe Reader」のインストール手順を参照の上、インストールを実施してください。
- ③ 申出システム 7.03 は **Access 2016 または AccessDatabaseEngine のインストールが必要です。(Access 2019、または Access 365 がインストールされている場合でも、別途 AccessDatabaseEngine のインストールが必要です)。** この要件を満たさない場合、「5. AccessDatabaseEngine のインストール手順」を参照の上、インストールを実施してください。
- ④ 申出システム 7.03 をインストールする際には、インストールを行うパソコンで起動している全てのアプリケーションを終了させてください（ウイルス対策ソフトなどの常駐型アプリケーションも終了させておいてください）。他のアプリケーションを終了しないままインストールを行った場合、お使いのパソコンのシステムに障害が発生する可能性があります。
- ⑤ 申出システム 7.03 をインストールする際には Windows のユーザ ID がすべて半角のユーザでログインし、インストールを行ってください。

## 3 申出システムのインストール手順

---

本章では、申出システム 7.03 のインストール手順について説明します。手順は、Microsoft Windows 10 と Microsoft Windows 11 で共通となります。

インストール方法はインストーラを利用した方法と、zip ファイルを使用した方法をご用意しております。一般ユーザがインストーラを利用してインストールするには管理者ユーザでの実行が必要となるため、管理者ユーザのパスワードの入力が要求されます。一方、zip ファイルを使用した場合は管理者ユーザでの実行が必要ありませんので、管理者ユーザのパスワードがご不明な方、またはインストーラによるインストールが禁止されている方は zip ファイルを使用して申出システムをインストールしてください。

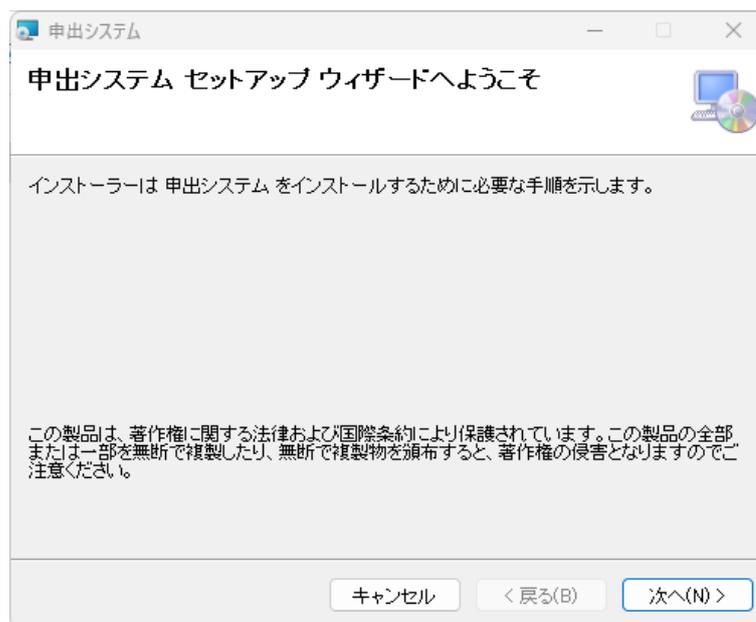
インストーラを利用される方は [「3.1 インストーラによる申出システムのインストール」](#) をご覧ください。

zip ファイルを使用される方は [「3.2 zip ファイルによる申出システムのインストール」](#) をご覧ください。

## 3.1 インストーラによる申出システムのインストール

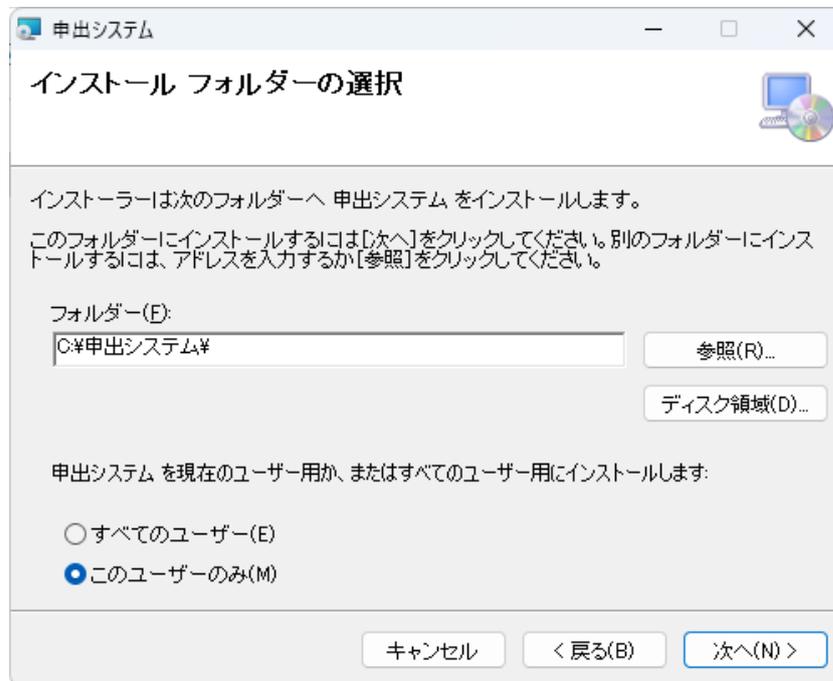
申出システム 7.03 は以下の手順でインストールします。

- ① ダウンロード手順書に従いダウンロードしたインストーラを任意のフォルダに格納してください。
- ② ダウンロードしたファイルを格納したフォルダの内容を表示し、インストーラを実行してください。
- ③ 申出システム 7.03 のセットアップ画面が表示されますので、「次へ(N)」ボタンをクリックしてください。

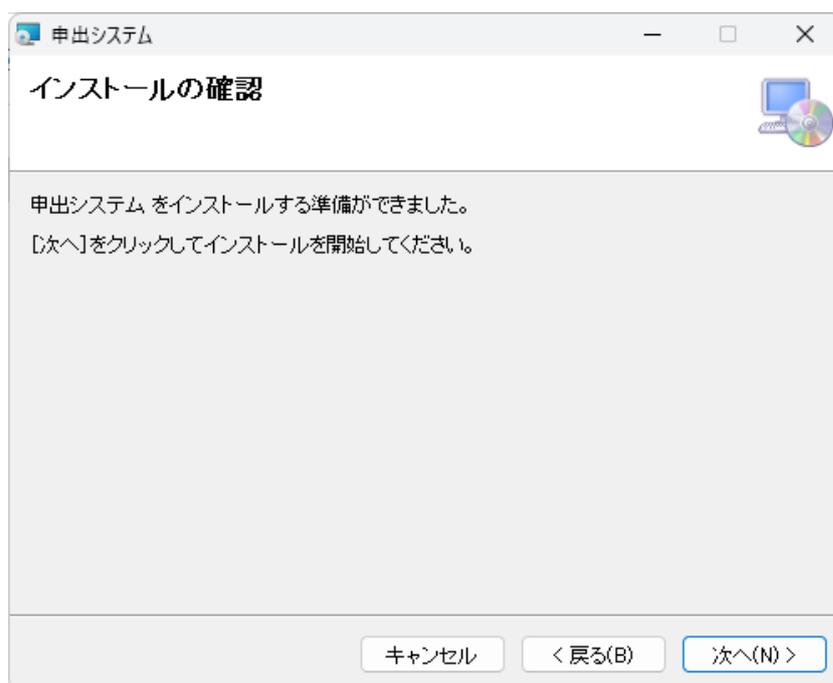


- ④ インストールするフォルダを必要に応じて設定してください。また、同じパソコンで複数のユーザが申出システム 7.03 を使用する場合、「すべてのユーザ(E)」を選択してください。設定が完了したら「次へ(N)」ボタンをクリックしてください。

※旧バージョンの申出システムのインストールフォルダは指定しないでください。旧バージョンの申出システムの誤作動及びデータ消失の恐れがあります。



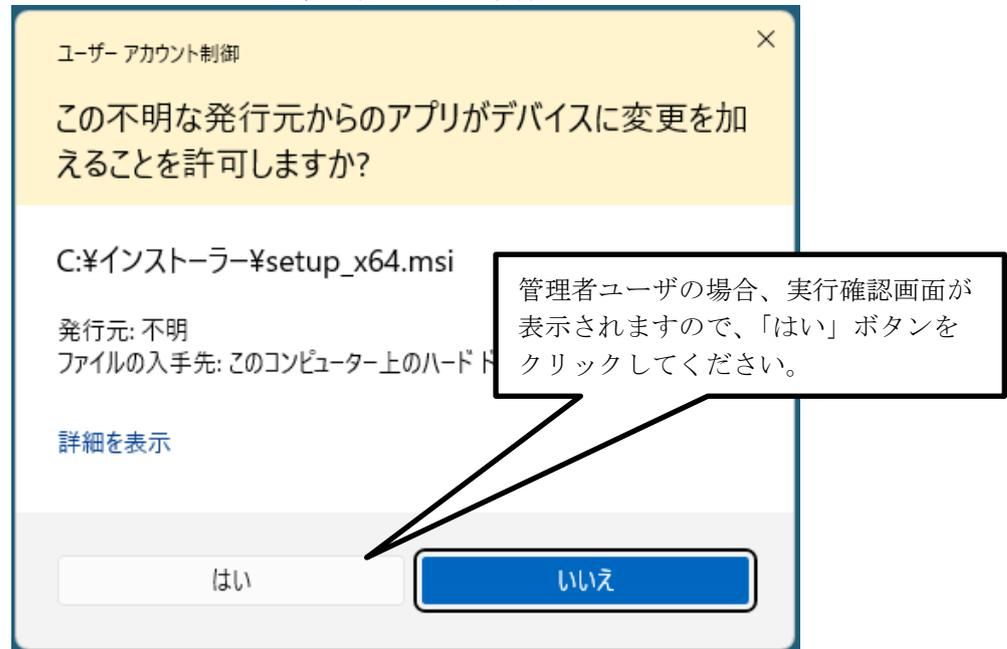
- ⑤ 以下の画面が表示されますので、「次へ(N)」ボタンをクリックしてください。



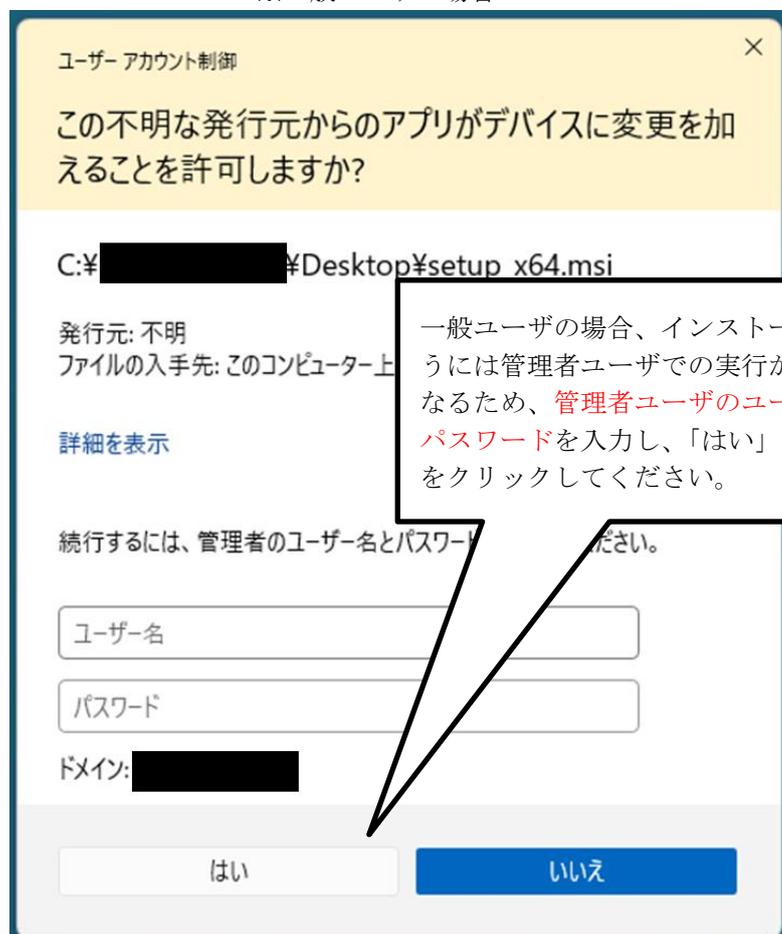
⑥ インストールを行っている Windows ユーザの権限によって下記図のようなユーザーアカウント制御画面がそれぞれ表示される場合があります。各画面の指示に従って操作を行い、処理を進めてください。

※ユーザーアカウント制御について不明点がありましたら、お使いのパソコンのシステム管理をされているご担当者様にお問合せください。

※管理者ユーザの場合



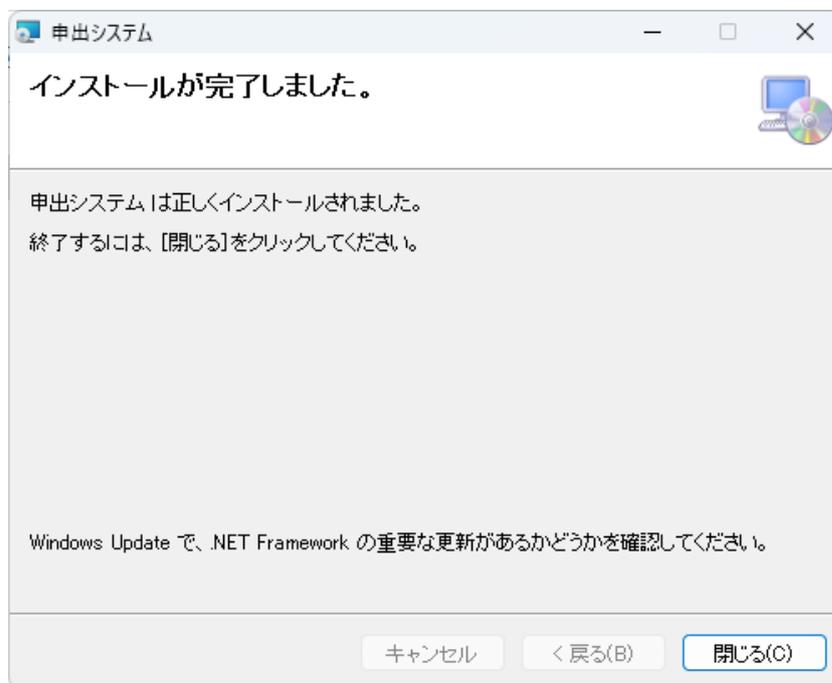
※一般ユーザの場合



インストールが完了したら、以下のメッセージボックスが表示されます。

※データベースファイル（MouhideDBv7.accdb）を共有利用しない場合は、本手順でインストール作業が完了です。⑧の起動確認に進んでください。

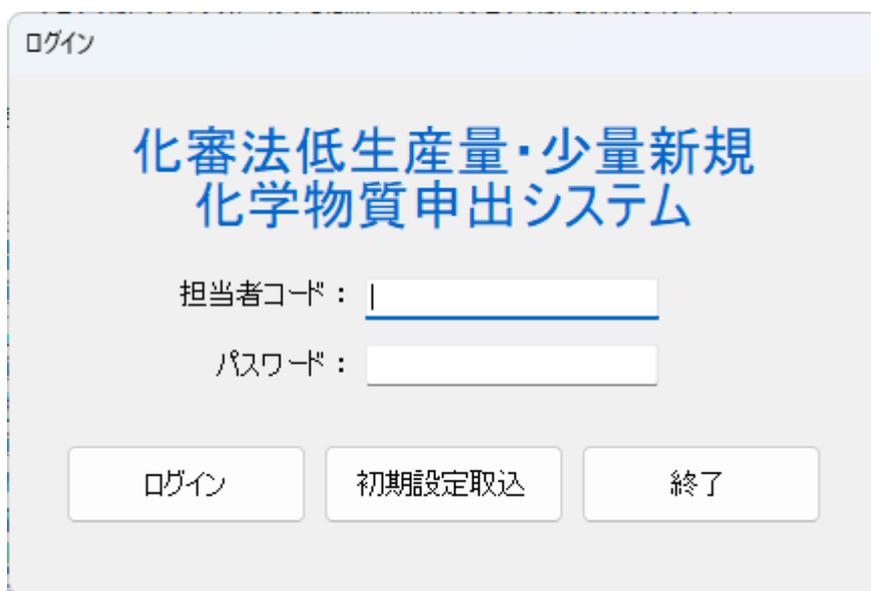
※データベースファイルを共有利用する場合は、セキュリティに係る設定、およびデータベースに係る設定も必要になります。データベースを共有については、第6章（応用）データベースの共有の方をご参照ください。



- ⑦ 申出システム 7.03 のインストールフォルダより、「OfferSystem」（拡張子を表示する設定の場合は「OfferSystem.exe」）をダブルクリックして実行すると、申出システム 7.03 を起動することができます。

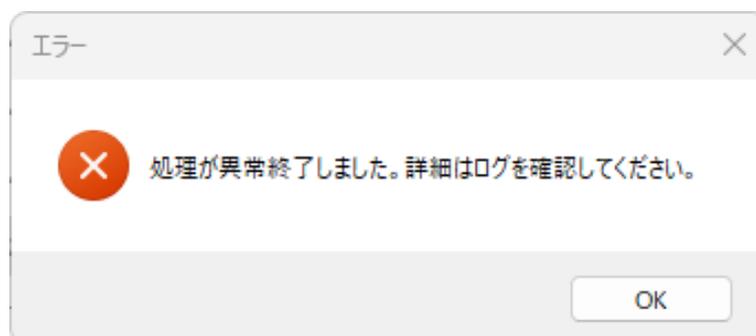
以下のログイン画面が表示されれば正常です。

なお、申出システム 7.03 をインストールするとデスクトップに「OfferSystem」というショートカットが作成されますので、ショートカットより起動することも可能です。



以下のメッセージが表示された場合、Access および AccessDatabaseEngine がインストールされていない可能性があります。ログファイル(Moushide.log)をご確認ください。

インストールフォルダ（例：「C:¥申出システム」）にあるログファイル「Moushide.log」をダブルクリックで開き、「インストール手順書をご参照の上、Microsoft AccessDatabaseEngine をインストールしてください。」というエラーメッセージがログに出力されていた場合、**AccessDatabaseEngine のインストールが必要です。第5章 AccessDatabaseEngine のインストール手順に従ってインストールを実施してください。**

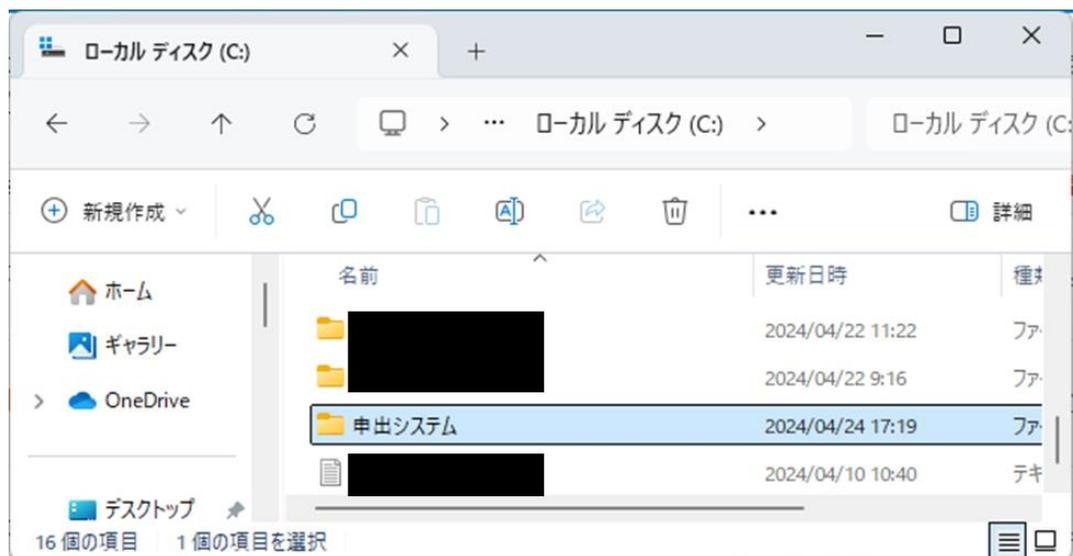


## 3.2 zip ファイルによる申出システムのインストール

zip ファイルを使用する場合は以下の手順でインストールします。

※zip ファイルのダウンロード手順はダウンロード手順書をご確認ください。

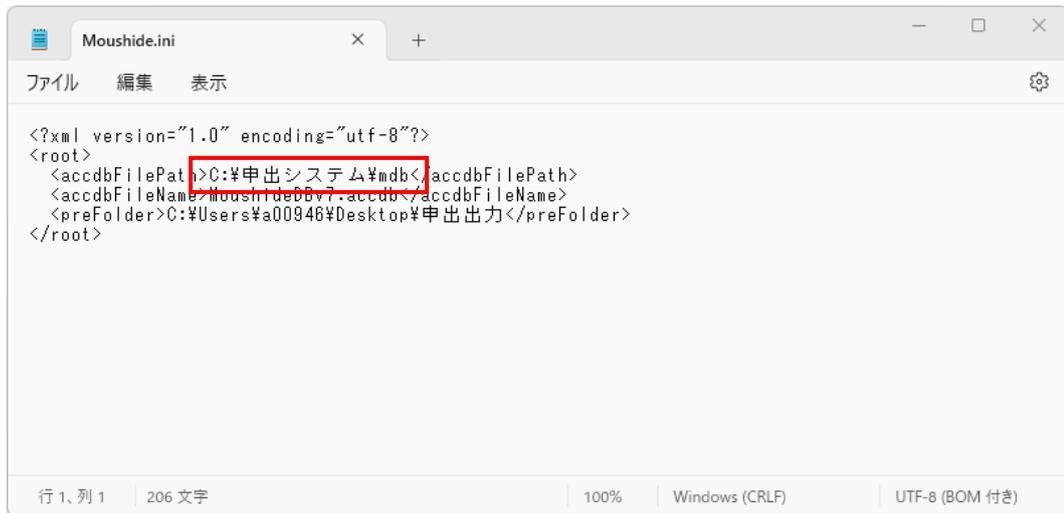
- ① インストールフォルダにダウンロードした zip ファイルを解凍してできたフォルダのフォルダ名を「申出システム」に変更して下さい。その「申出システム」フォルダを任意の場所に移動します。ここでは C ドライブ直下に移動した場合を想定して説明します。この場合インストールフォルダは「C:¥申出システム」を指します。



- ② 「申出システム」フォルダにある設定ファイル「Moushide.ini」をダブルクリックで開き、  
<accdbFilePath>~ </accdbFilePath>の~の部分に記載のPath情報（下記図では、3行目）を①で配置、  
移動したデータベースファイル（MoushideDBv7.accdb）のあるフォルダのPath情報に変更してください。

※データベースファイル（MoushideDBv7.accdb）を共有利用しない場合は、本手順でインストール作業  
が完了です。③の起動確認に進んでください。

※データベースファイルを共有利用する場合は、セキュリティに係る設定、およびデータベースに係  
る設定も必要になります。データベースを共有については、第6章（応用）データベースの共有の方を  
ご参照ください。



```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<root>
  <accdbFilePath>C:%申出システム%mdb</accdbFilePath>
  <accdbFileName>MoushideDBv7.accdb</accdbFileName>
  <preFolder>C:%Users%a00946%Desktop%申出出力</preFolder>
</root>
```

例) Moushide.ini の修正例

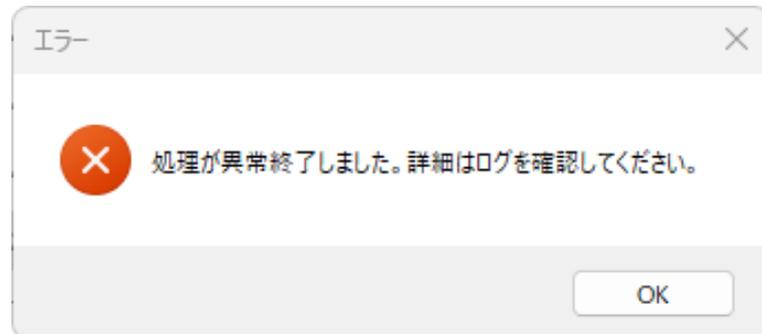
- ③ 申出システム 7.03 のインストールフォルダ（この場合は「申出システム」フォルダ）にある  
「OfferSystem」（拡張子を表示する設定の場合は「OfferSystem.exe」）をダブルクリックして実行する  
と、申出システム 7.03 を起動することができます。

以下のログイン画面が表示されれば正常です。



以下のメッセージが表示された場合、Access および AccessDatabaseEngine がインストールされていない可能性があります。ログファイル(Moushide.log)をご確認ください。

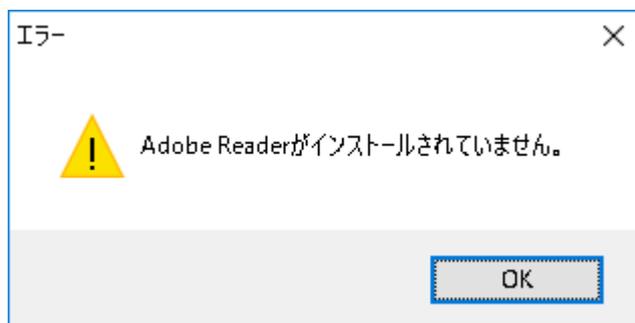
インストールフォルダ（例：「C:¥申出システム」）にあるログファイル「Moushide.log」をダブルクリックで開き、「インストール手順書をご参照の上、Microsoft AccessDatabaseEngine をインストールしてください。」というエラーメッセージがログに出力されていた場合、**AccessDatabaseEngine のインストールが必要です。第5章 AccessDatabaseEngine のインストール手順に従ってインストールを実施してください。**



## 4 Adobe Reader のインストール手順

本章では、申出システム 7.03 の動作に必要な Adobe Reader のインストール手順について説明します。手順は、Microsoft Windows 10 と Microsoft Windows 11 で共通となります。

Adobe Reader がインストールされていないパソコンで申出システム 7.03 を使用すると、申出書印刷時などに以下のメッセージが表示される場合があります。



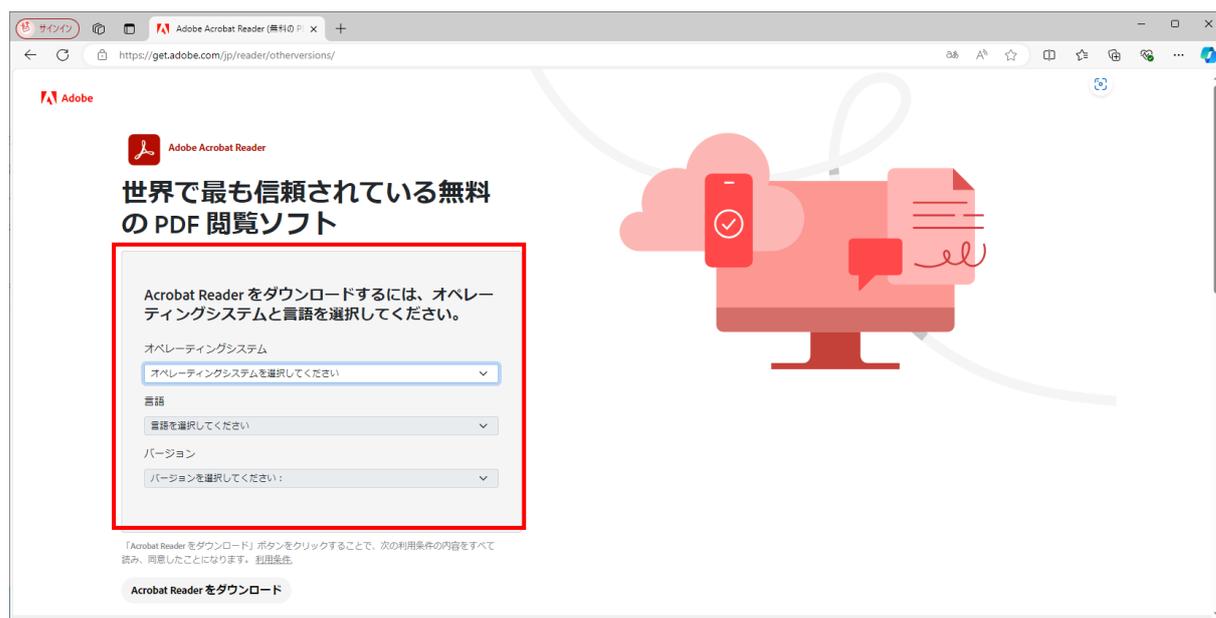
このメッセージが表示された場合、Adobe Reader のインストールが必要です。下記手順に従ってインストールを実施してください。

### 4.1 Adobe Reader をインストールする

「Adobe Acrobat Reader DC」もしくは「Adobe Reader XI」がインストールされていない場合、Adobe Reader のインストールが必要です。下記手順に従い、Adobe Reader をインストールしてください。

- ① 下記サイトに接続し、「オペレーティングシステム」でインストールする対象パソコンの OS を選択し、「言語」で「Japanese」を、「バージョン」で「Reader」を選択してください。

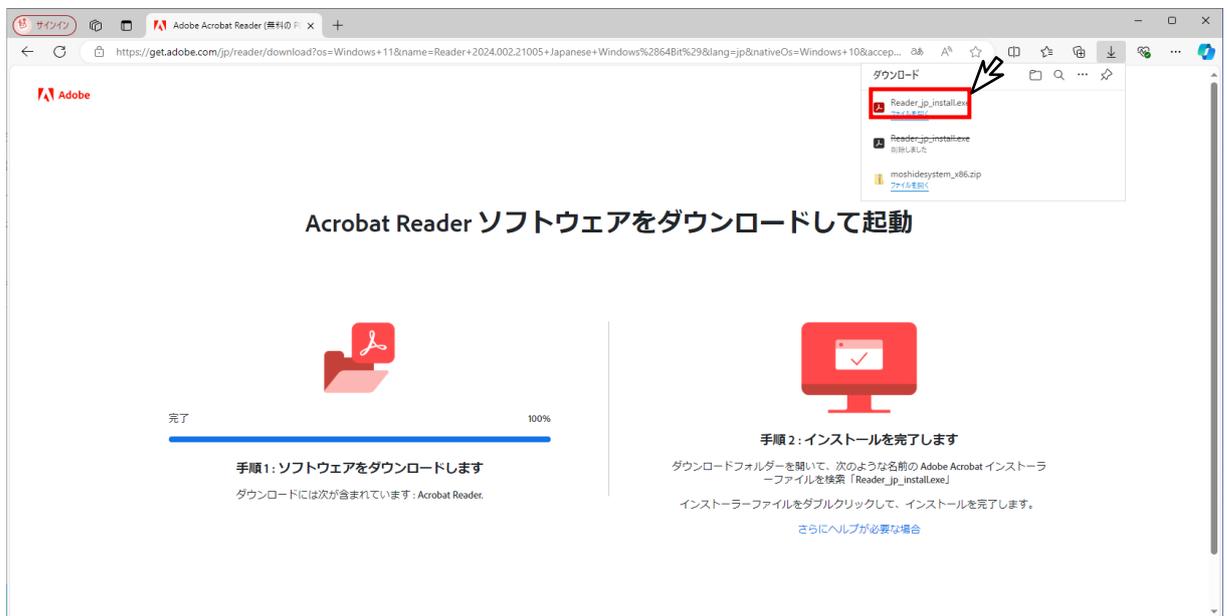
<https://get.adobe.com/jp/reader/otherversions/>



- ② 「Acrobat Reader をダウンロード」 ボタンをクリックしてください。



- ③ ダウンロードが完了すると、画面右上にダウンロードファイルリストが表示されますので、「ファイルを開く」ボタンをクリックしてください。

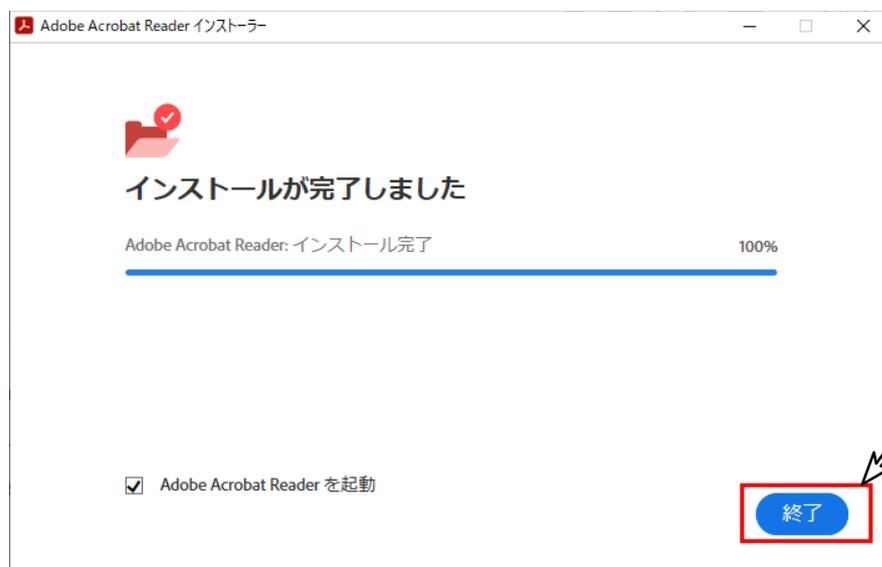


- ④ ダウンロードファイルリストで「ファイルを開く」ボタンをクリックする、もしくはダウンロードした Reader\_jp\_install.exe をダブルクリックすると、インストーラが起動されます。ユーザーアカウント制御の確認が出た場合、「はい(Y)」をクリックしてください。管理者ユーザのパスワードを求められた場合、管理者ユーザのパスワードを入力してください。

インストールが開始されますので、そのまましばらくお待ちください。



- ⑤ インストール完了画面が表示されたら「終了」ボタンをクリックしてください。ブラウザーが起動し、インストールが正常に完了したことを示す画面が表示されますので、ブラウザーを閉じてください。



## 5 AccessDatabaseEngine のインストール手順

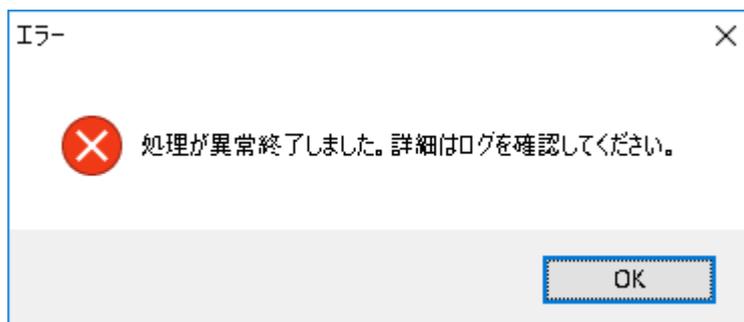
本章では、申出システム 7.03 の動作に必要となる AccessDatabaseEngine のインストール手順について説明します。手順は、Microsoft Windows 10 と Microsoft Windows 11 で共通となります。

なお、申出システムを利用する用途のみで Access Runtime 2013 がインストールされているパソコンについては、2023 年 4 月で Access Runtime 2013 のサポートが終了となりましたので、AccessDatabaseEngine をインストールしたのち、Access Runtime 2013 をアンインストールしてください。

具体的には、「5.1 AccessDatabaseEngine をインストールする」に従ってインストールを実施したのち、「5.2 Access Runtime をアンインストールする」に従ってアンインストールを実施してください。

**※Access Runtime 2013, AccessDatabaseEngine のインストール状況や他業務での使用状況により置き換えを行ってよいかどうかの判断がつかない場合は、お使いのパソコンのシステム管理をされているご担当者様にお問合せください。**

また、Access または AccessDatabaseEngine がインストールされていないパソコンで申出システム 7.03 を起動すると、以下のメッセージが表示され、ログファイル(Moushide.log) (例:「C:¥申出システム」)に「インストール手順書をご参照の上、Microsoft AccessDatabaseEngine をインストールしてください。」というエラーメッセージが出力されます。



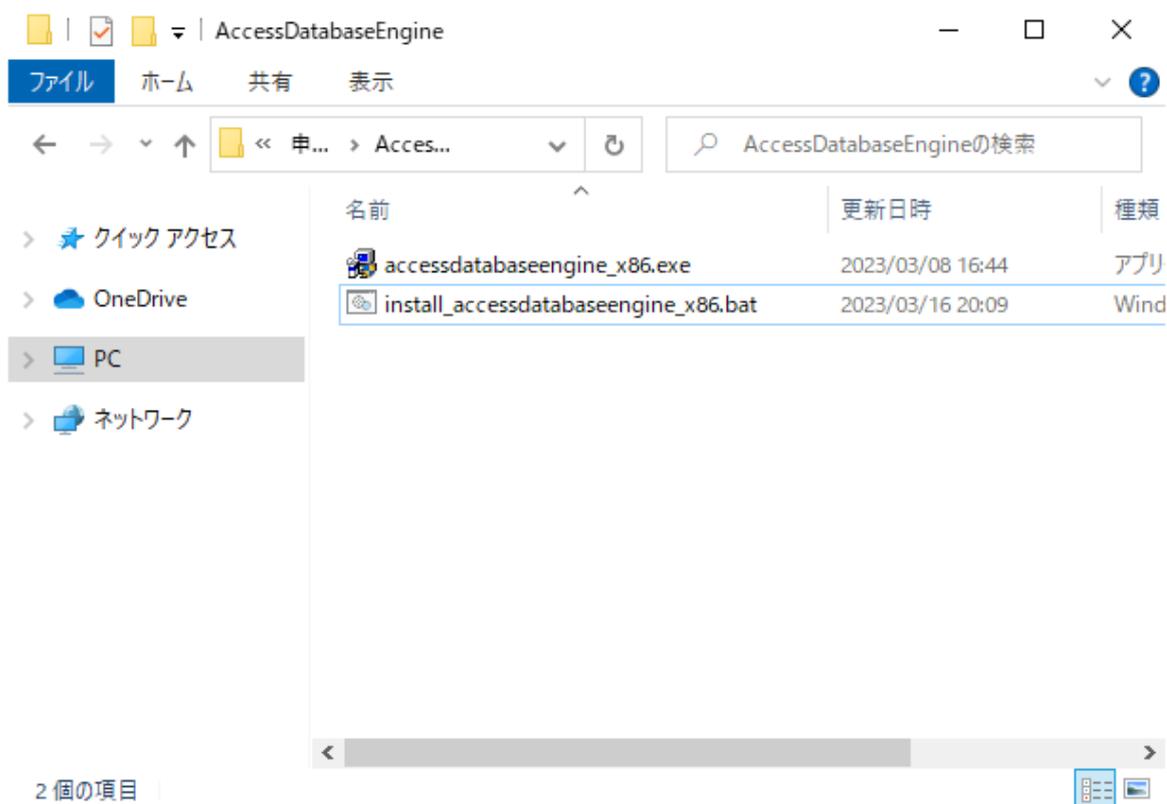
AccessDatabaseEngine のインストールが必要ですので、「5.1 AccessDatabaseEngine をインストールする」に従ってインストールを実施してください。

## 5.1 AccessDatabaseEngine をインストールする

Access Runtime 2013 がインストールされている場合、下記手順に従い、AccessDatabaseEngine をインストールしてください。その後、「5.2 Access Runtime をアンインストールする」を実行ください。

また、Access または AccessDatabaseEngine がインストールされていないことが判明した場合も、下記手順に従い、AccessDatabaseEngine をインストールしてください。

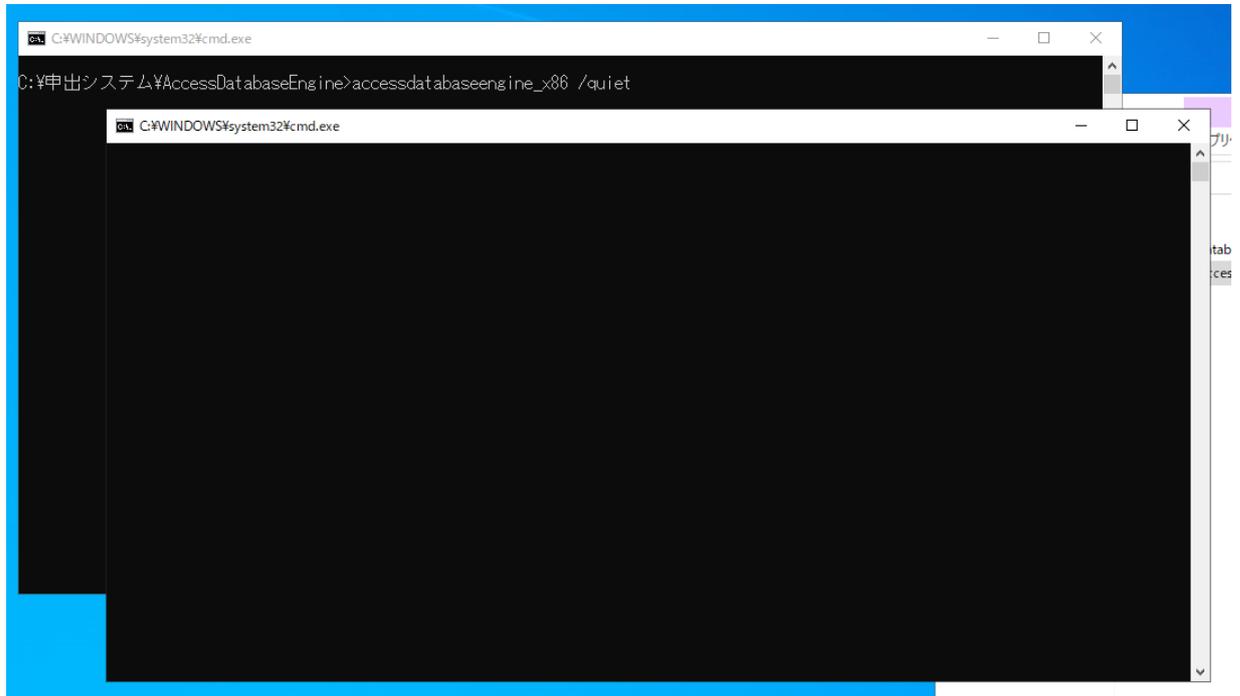
- ① 申出システムのインストールフォルダ（例：「C:\¥申出システム」）内の「AccessDatabaseEngine」フォルダを開き、『install\_accessdatabaseengine\_x86』、または『install\_accessdatabaseengine\_x64』をダブルクリックして実行してください。（「AccessDatabaseEngine」フォルダは setup\_x86\_ade または setup\_x64\_ade という名称のインストーラを使用した場合に同梱されています。存在しない場合は、AccessDatabaseEngine が同梱されていないインストーラをダウンロードしている可能性があります。ダウンロード手順書を参照の上、AccessDatabaseEngine が同梱されたインストーラをダウンロードし、インストールをやり直してください。）



- ② インストーラを実行すると、インストールを行っている Windows ユーザによって、ユーザーアカウント制御画面が表示される場合がありますので、「はい(Y)」ボタンをクリックしてコンピュータへの変更を許可してください。管理者のパスワードを求められた場合は管理者のパスワードを入力してください。

**※ユーザーアカウント制御について不明点がありましたら、お使いのパソコンのシステム管理をされているご担当者様にお問合せください。**

- ③ 下記の画面が表示されますが、インストールはバックグラウンドで実行されます。この画面が画面上から消去されましたら、インストールは完了となります。

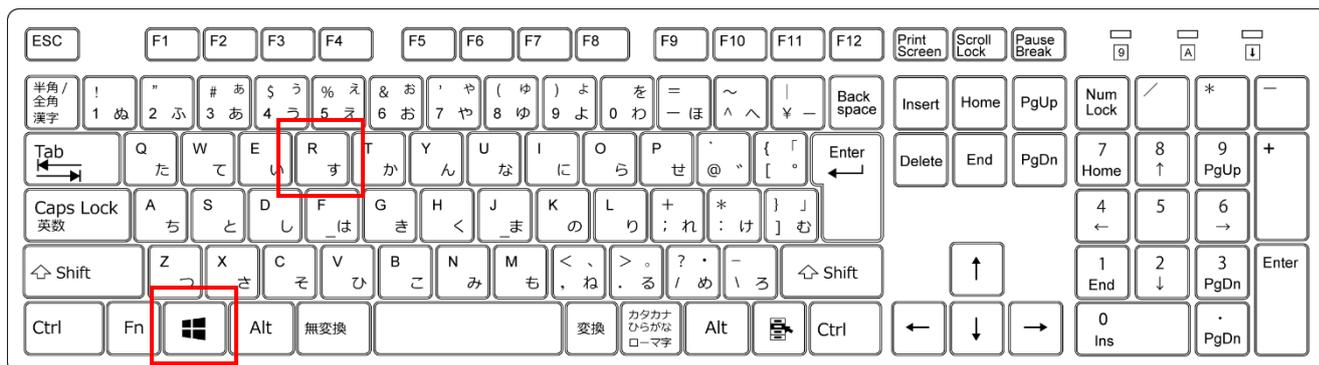


## 5.2 Access Runtime をアンインストールする

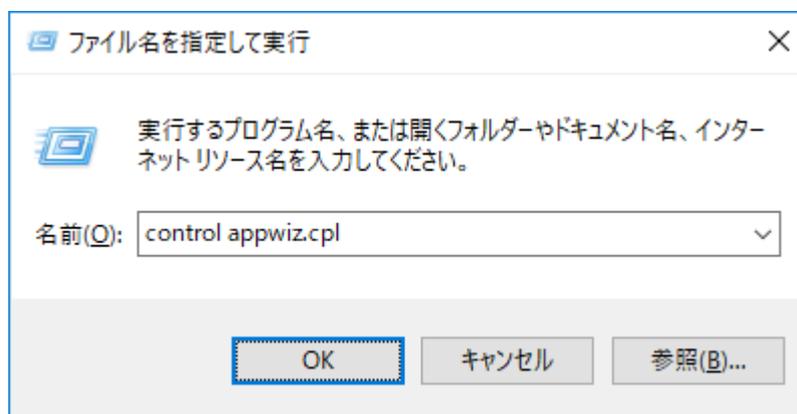
Access Runtime 2013 のアンインストールする方法につきましては、以下の手順で実施ください。手順は、Microsoft Windows 10 と Microsoft Windows 11 で共通となります。

※下記手順では Access Runtime 2013 を例にご説明します。他のバージョンの Access Runtime をアンインストールされる方も基本的に同じ手順でアンインストールが可能です。バージョン番号を適宜読み替えて実施してください。

- ① Windows キーを押しながら R キーを押します。

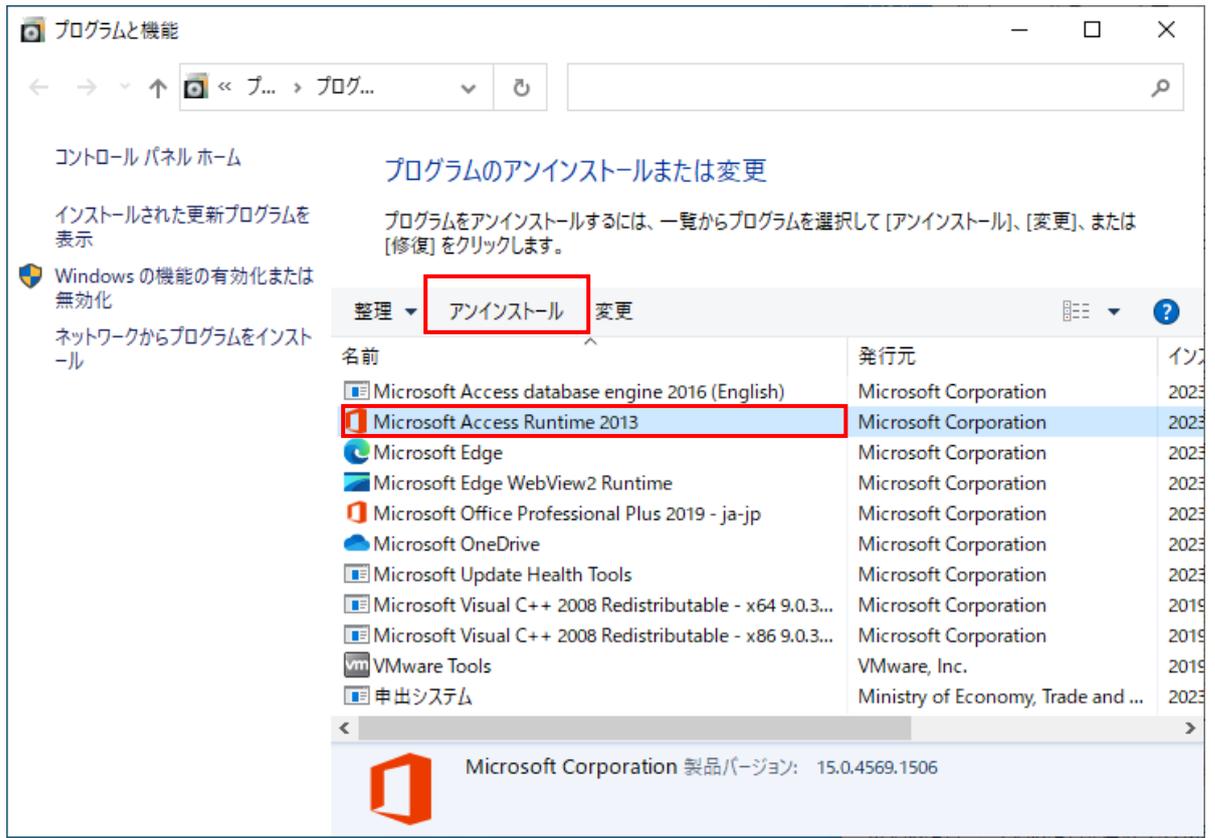


- ② 「control appwiz.cpl」を入力し「OK」ボタンをクリックします。



- ③ 「Microsoft Access Runtime 2013」が表示されていることを確認します。表示されていない場合は「Microsoft Access Runtime 2013」がインストールされていないので以降の手順をスキップしてください。

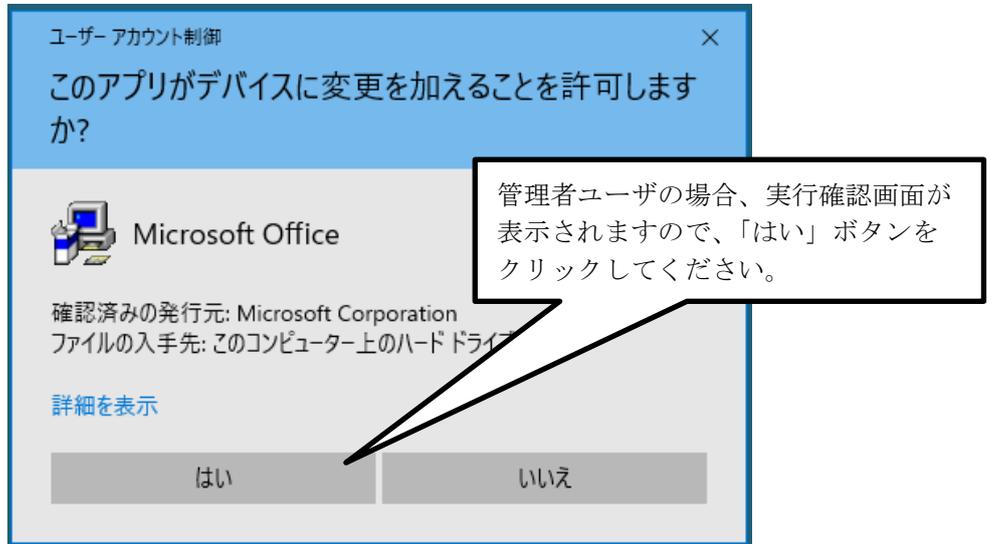
- ④ 「Microsoft Access Runtime 2013」を選択の上、「アンインストール」ボタンをクリックします。



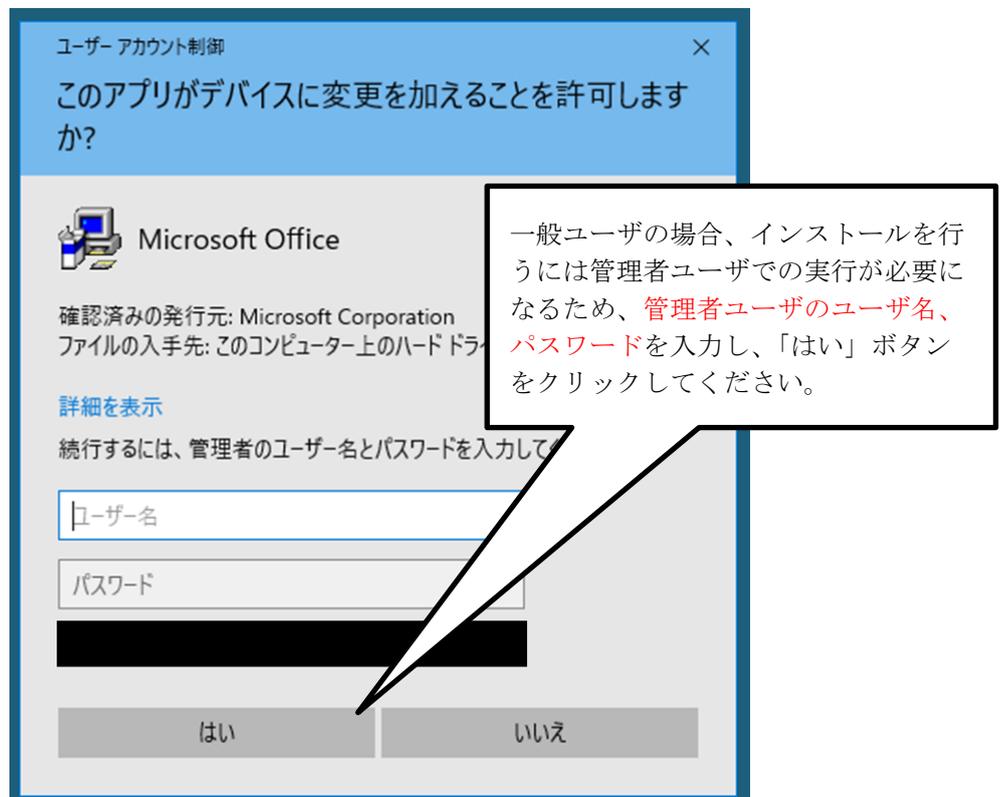
- ⑤ インストールを行っている Windows ユーザの権限によって下記図のようなユーザーアカウント制御画面がそれぞれ表示される場合があります。各画面の指示に従って操作を行い、処理を進めてください。

※ユーザーアカウント制御について不明点がありましたら、お使いのパソコンのシステム管理をされているご担当者様にお問合せください。

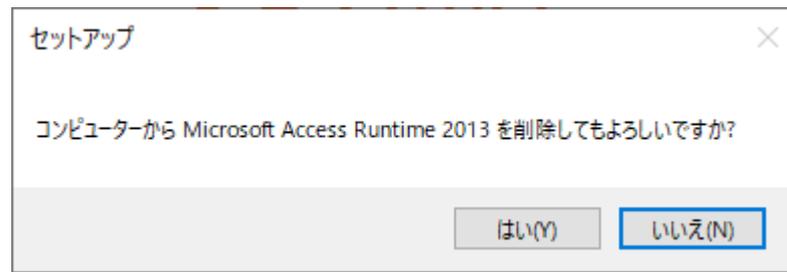
※管理者ユーザの場合



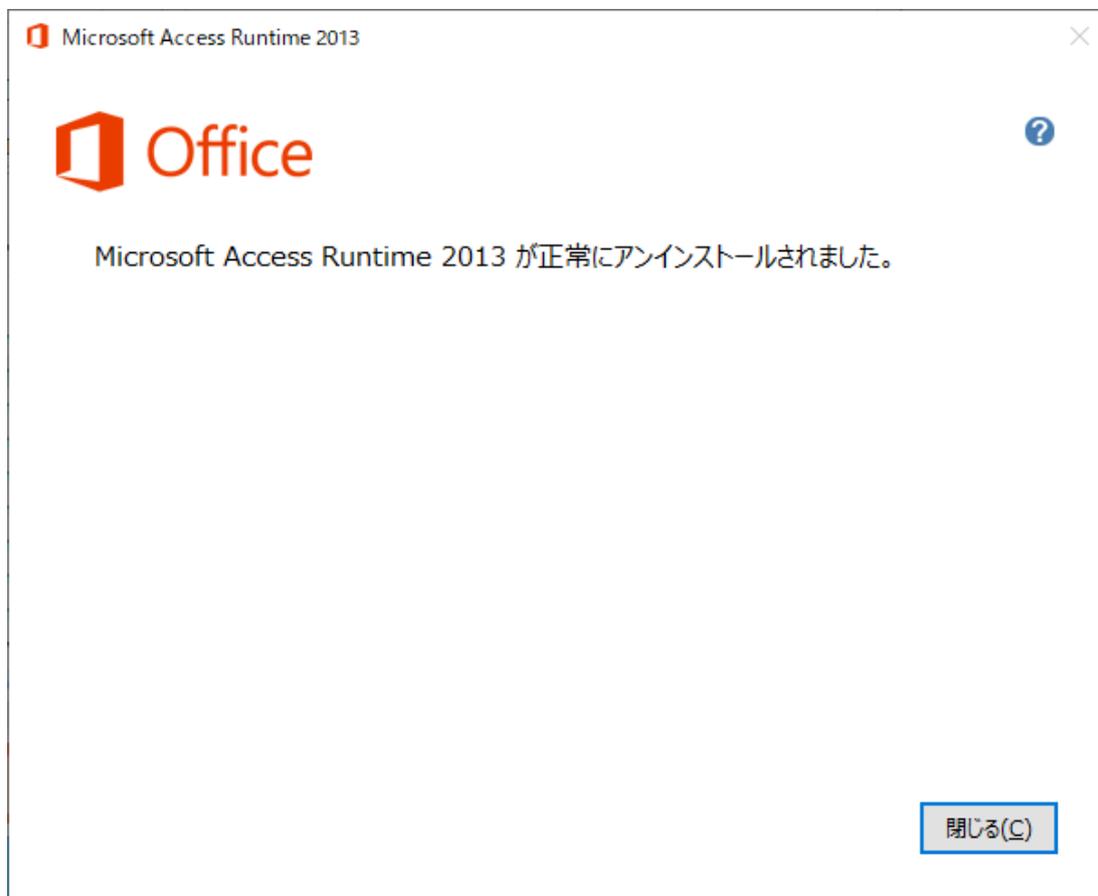
※一般ユーザの場合



- ⑥ 削除することを確認するメッセージが表示されますので、「はい」をクリックするとアンインストールを開始します。



- ⑦ アンインストールが完了すると、以下のようなメッセージが表示されますので「閉じる」ボタンをクリックします。



## 6 (応用) データベースの共有

---

本章では、申出システム 7.03 のデータベース共有について説明します。手順は、Microsoft Windows 10 と Microsoft Windows 11 で共通となります。

### 6.1 データベース共有とは

---

申出システム 7.03 では accdb ファイルでデータを管理しています。データを管理する accdb ファイルを共有サーバ上や共有フォルダ上に配置し、各利用者が参照することにより、同じデータを参照したり編集したりすることが可能になります。データベース共有を行うことは 6.2 で示しているようにメリットが多い一方で、6.3 で示すような申出システム 7.03 を利用することができなくなるデメリットも存在することも把握した上でご利用下さい。

### 6.2 データベース共有によるメリット

---

データベースファイル(accdb ファイル)を共有した場合、下記の機能を使用しなくても統括責任者一連絡担当者間でデータを共有することが可能になります。また、別の担当者が作成したデータを元に、継続作成や転用作成を利用したり、申出書データを修正したり、申出書を PDF ファイル形式で出力したりすることが可能になります。また、初期設定時には、初期設定情報の出力や取込が不要になります。

### 6.3 データベース共有によるデメリット

---

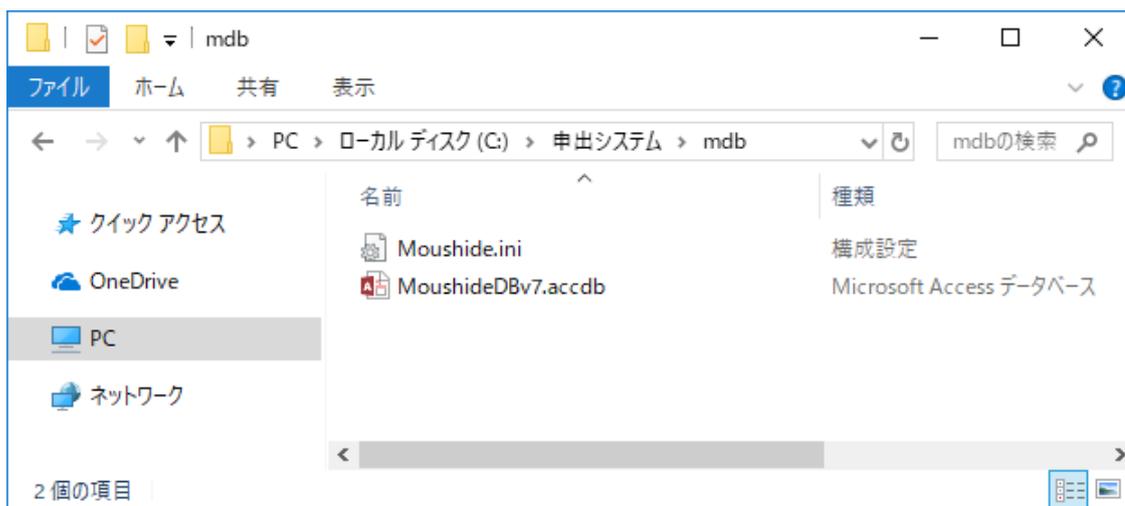
データベースファイル(accdb ファイル)を共有した場合、共有サーバや共有フォルダを用意したマシンの電源が切られてしまったり、ネットワークから切断されてしまったりし、共有サーバや共有フォルダに接続できなくなった場合、申出システム 7.03 を起動することができなくなります。申出システム 7.03 を利用される時間帯に、確実に共有サーバや共有フォルダに接続できる環境を用意できない場合は、データベース共有により作業効率が低下する恐れがあります。

## 6.4 データベース共有を実施する手順

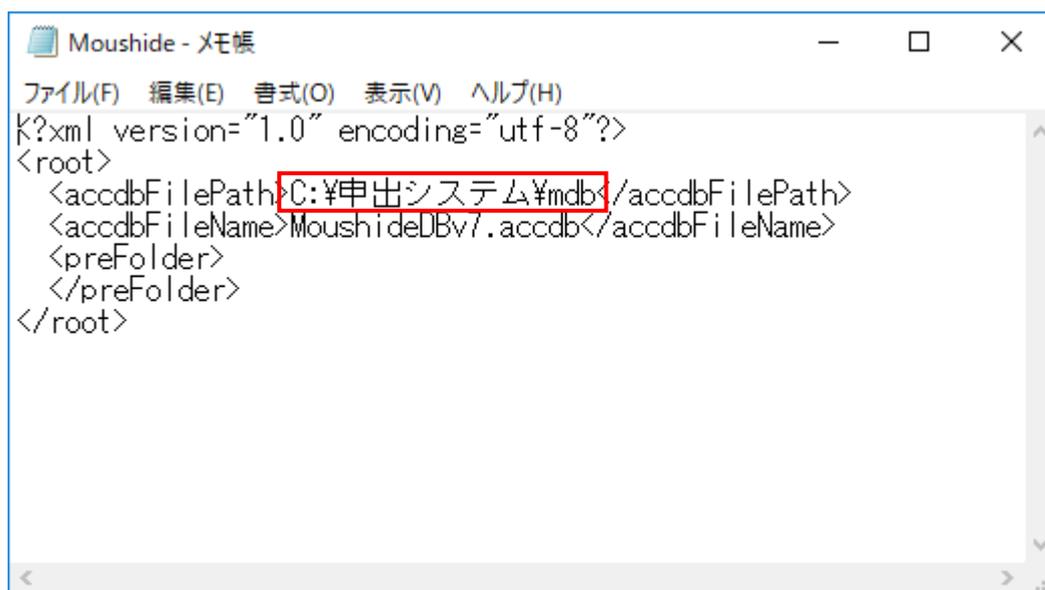
第3章申出システムのインストール手順に従って、申出システムをインストールした後に以下を実施してください。

- ① エクスプローラーを使用してインストールフォルダ（例：「C:¥申出システム¥mdb」）を表示し、データベースファイル（MoushideDBv7.accdb）を任意の共有サーバ上や共有フォルダ上にコピーしてください。

※既に統括責任者によりデータベースファイル（MoushideDBv7.accdb）が共有サーバ上等に配置されている場合は、本手順の実施は不要です。②の設定ファイル変更に進んでください。

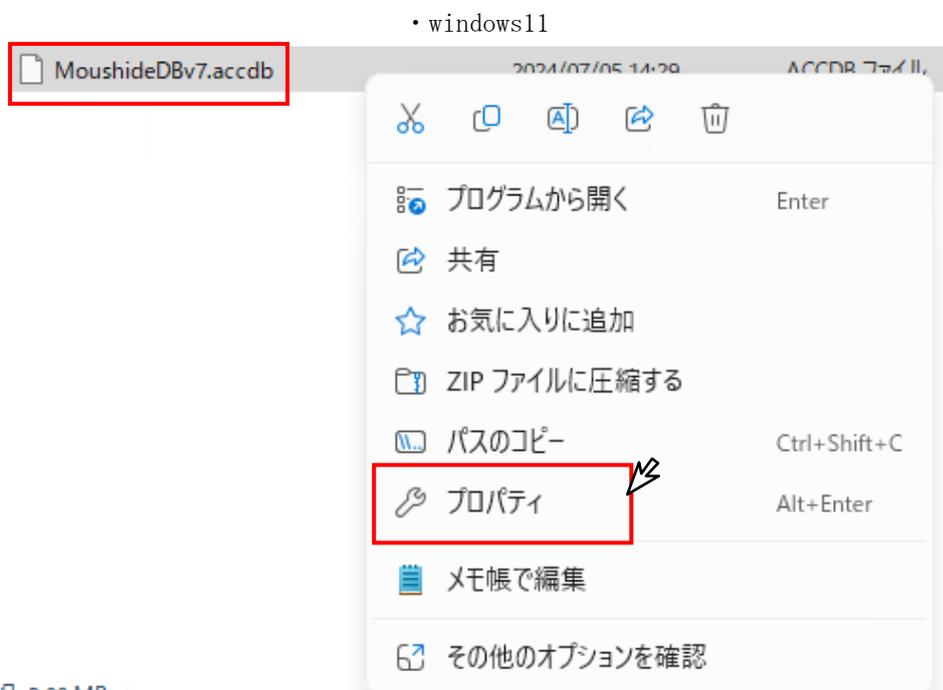
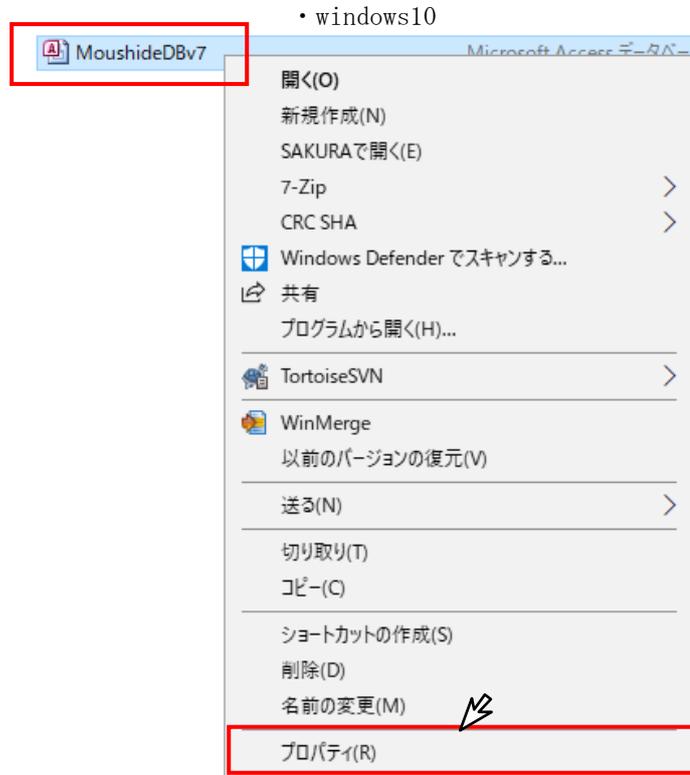


- ② インストールフォルダ（例：「C:¥申出システム¥mdb」）にある設定ファイル「Moushide.ini」をダブルクリックで開き、<accdbFilePath>~ </accdbFilePath>の~の部分にあるPath情報（下記図では、3行目）をデータベースファイル（MoushideDBv7.accdb）を配置したフォルダに変更してください。



例) Moushide.ini の修正例

- ③ データベースファイル (MoushideDBv7. accdb) を右クリック⇒「プロパティ(R)」(windows10)または「プロパティ」(windows11)をクリックし、「MoushideDBv7. accdb のプロパティ」画面を表示します。



© 2020 MR

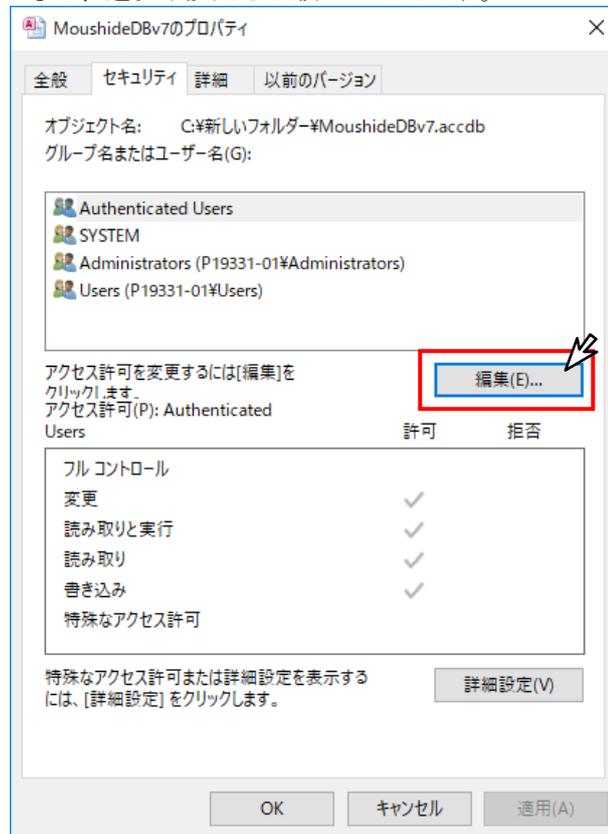
④ 「セキュリティ」タブ⇒「編集(E)」をクリックします。

※セキュリティの編集について不明点がありましたら、お使いのパソコンのシステム管理をされているご担当者様にお問合せください。

※システム管理をされているご担当者様へ

申出システム 7.03 は accdb ファイルでデータを管理しているため、accdb ファイルへの書き込み・読み取りを可能にする必要があります。

各事業者様のルールのもと、適切な設定をお願いいたします。



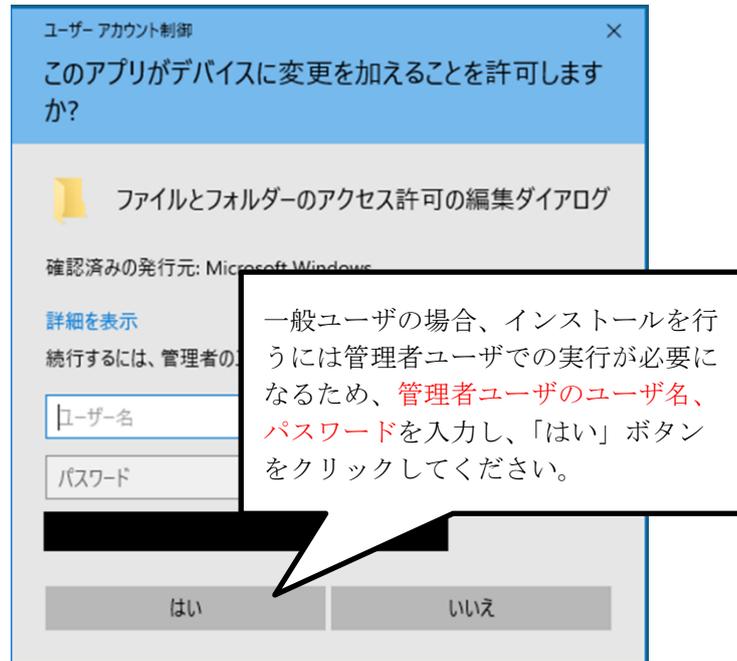
※一般ユーザの場合、ユーザーアカウント制御画面が表示される可能性がありますので、管理者ユーザのパスワードを入力して「OK」ボタンをクリックしてください。

※ユーザーアカウント制御について不明点がありましたら、お使いのパソコンのシステム管理をされているご担当者様にお問合せください。

※システム管理をされているご担当者様へ

申出システム 7.03 は accdb ファイルでデータを管理しているため、accdb ファイルへの書込み・読み取りを可能にする必要があります。

各事業者様のルールのもと、適切な設定をお願いいたします。



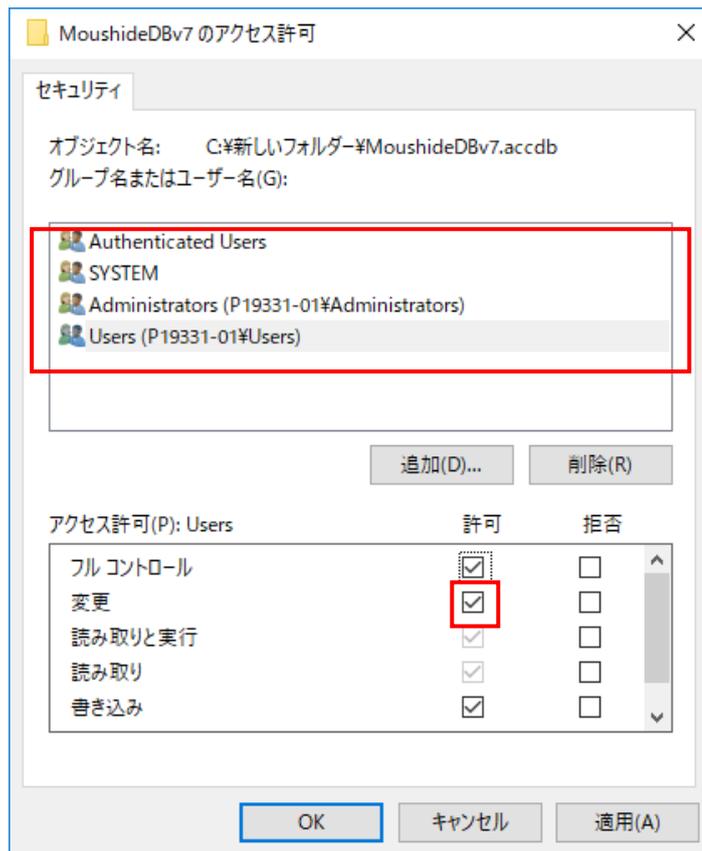
- ⑤ 画面上部の「グループ名またはユーザ名(G)」の一覧からシステムをインストールしたユーザ(※)を選択し、画面下部の「●●●のアクセス許可(P)」⇒「フル コントロール 許可」にチェック⇒「OK」ボタンをクリック⇒「プロパティ」画面で再度「OK」ボタンをクリックします。

※アクセス許可について不明点がありましたら、お使いのパソコンのシステム管理をされているご担当者様にお問合せください。

※システム管理をされているご担当者様へ

申出システム 7.03 は accdb ファイルでデータを管理しているため、accdb ファイルへの書込み・読み取りを可能にする必要があります。

各事業者様のルールのもと、適切な設定をお願いいたします。



※システムをインストールしたユーザとは、お使いのパソコンのユーザのことを指します。

---

## 6.5 システム利用開始後にデータベース共有を実施する手順

---

データベース共有は、システム利用開始後に設定してご利用いただくことも可能です。

データベース (accdb ファイル) を共有せずに各連絡担当者及び統括責任者が各自のパソコンで申出システム 7.03 を利用開始していたが利用開始後にデータベース共有を実施する場合は、以下の手順に従って共有を実施してください。

- ① 各連絡担当者は、操作説明書の 6.2.1 に従い申出書データを統括責任者に提出してください。
- ② 統括責任者は、操作説明書の 6.2.2 に従い提出された申出書データを取り込んでください。
- ③ 統括責任者は、使用しているデータベース (accdb ファイル) を共有サーバ上や共有フォルダ上に移動してください。

※使用しているデータベース (accdb ファイル) は、特に移動を実施していない場合、申出システム 7.03 のインストールフォルダ内の「mdb」フォルダ内にある「MoushideDBv7.accdb」です。

移動を実施したか不明な場合は、同「mdb」フォルダ内にある Moushide.ini をご参照ください。

ファイルパスが「<accdbFilePath>」に、ファイル名が「<accdbFileName>」に記載されています。

**※データベース (accdb ファイル) のファイル名はデフォルト「MoushideDBv7.accdb」のままご利用ください。**

- ④ 統括責任者、および各連絡担当者は、設定ファイル（「C:¥申出システム¥mdb¥Moushide.ini」）を開き、<accdbFilePath>～ </accdbFilePath>となっている部分の「C:¥申出システム¥mdb」（初期値の場合）を、データベース (accdb ファイル) を配置したフォルダに変更してください。
- ⑤ 統括責任者、および各連絡担当者は、申出システム 7.03 を起動し、ログインできることを確認してください。

## 7 (応用) パソコン更新手順

---

新規パソコンに申出システム 7.03 をインストール後旧パソコンで作成した申出データを継続して利用する場合は、旧パソコンの申出データのバックアップを行い、新規パソコンに申出システム 7.03 をインストール後に、バックアップした申出データの移行が必要になります。

### 7.1 バックアップ

---

申出システム 7.0X (X=0, 1, 2, 3) は以下の手順でバックアップを取ることが出来ます。

- ① 申出システムのインストールフォルダをコピーします。  
※申出システム 7.0X (X=0, 1, 2, 3) のデフォルトのインストールフォルダは、「C:¥申出システム¥」です。
- ② インストールフォルダ内の mdb フォルダの「Moushide.ini」を開きます。
- ③ データベースファイル (MoushideDBv7.accdb) を格納しているフォルダのパスを、<acddbFilePath> ~</acddbFilePath>の～部分の所で、確認してください。  
フォルダのパスが、インストールフォルダ直下またはそのサブフォルダを指している場合は、以上でバックアップが完了です。これに該当しない場合は、次の手順に進んでください。  
※ (例) <acddbFilePath>C:¥申出 システム¥mdb</acddbFilePath>
- ④ データベースファイルの名前を、<acddbFileName>~</acddbFileName>の～部分の所で確認します。  
※ (例) <acddbFileName>MoushideDBv7.accdb</acddbFileName>
- ⑤ データベースファイルを格納しているフォルダを開き、前の手順で確認したデータベースファイルをコピーします。以上でバックアップが完了です。

### 7.2 申出システムのインストール

---

新規パソコンに第 3 章申出システムのインストール手順に従って申出システムをインストールして下さい。

### 7.3 バックアップデータの移行

---

- ① 新規パソコンのインストールフォルダ内の mdb フォルダのデータベースファイル (MoushideDBv7.accdb) をバックアップしたデータベースファイル (MoushideDBv7.accdb) と入れ替えます。
- ② バックアップしたフォルダのパスがインストールフォルダ直下またはそのサブフォルダを指している場合は、以上でバックアップが完了です。これに該当しない場合は、次の手順に進んでください。
- ③ インストールフォルダ内の mdb フォルダの「Moushide.ini」を開きます。<acddbFilePath> ~</acddbFilePath>の～部分の所のパス情報をデータベースファイル (MoushideDBv7.accdb) を配置したフォルダに変更してください。以上でバックアップがバックアップデータの移行が完了です。